

フォントブ(ストラップホルダー) 小サイズ インクジェット印刷

入稿データはVersion CS6以下のE P Sファイルと
確認用のJ P E Gファイルを一緒に入稿してください。

データに印刷の仕様上問題がある場合は制作担当からご連絡させていただきます。

デザイン修正や色校正に関しましてトラブルの元となりますので原則お客様に修正していただき再入稿となります。

印刷に関して

印刷する下地の色が若干、白紙の紙の色と異なるため
■ 白紙の紙に印刷した色と相違する場合がございます。

カットライン

文字など切れてはいけない内容は
このラインに納めてください

文字は必ずアウトラインにしてください。
また、画像は必ず埋め込みしてください。

再入稿にならないためのポイントはこちら

□クリッピング枠でクリッピングマスク

デザインデータは入稿データレイヤーの中にあるクリッピング枠で
クリッピングマスクを作成してください。

□入稿データは CS6 以下

データファイルが開けない場合がございますので
入稿データはC S 6以下にしてください。

□ファイル名は英数字表記

英数字以外のファイル名は文字化けをしてしまう可能性があります。

□入稿データは EPS と JPEG を入稿

データファイルはE P S形式で保存してください。
確認用のJ P E Gファイルも一緒に入稿してください。
J P E Gファイルは「ファイル」⇒「Web 用に保存」をして
アートボードサイズでクリップにチェックを入れて保存してください。

□画像はすべて埋め込み処理

配置（リンク）されている画像はすべて埋め込み処理をしてください。

□文字は 5pt 以上

文字やデザインが小さすぎますと再現できない可能性がありますので、
5pt 以上の文字または 5pt の文字と同等以上の大きさのデザインにしてください。

□文字はすべてアウトライン化

全てを選択し「書式」⇒「アウトラインを作成」をしてください。

□画像データの解像度は 350 ～ 400dpi

配置後の拡大縮小は、画質の劣化につながりますのでご注意ください。

□ドキュメントのカラーモードは CMYK

R G B データを入稿しますと特色の色が置き換わってしまいますので、
ドキュメントのカラーモードはC M Y K にしてください。

□CMYK の合計は 300% 以内

C M Y K の合計が 300% を超えてしまいますと、インキが乾きにくく、
色移りなどのトラブルの原因となりますので、使用しないでください。

不明な点がございましたらお問い合わせください。

白版について

クリア素材の場合は、透けてほしくない部分、白く見せたい部分には白版が必要となります。

カラー素材の場合は、下地の色が透けてほしくない部分、白く見せたい部分には白版が必要となります。

カラーデータとは別に白版レイヤーに作成してください。

白版の配色は白版テンプレートにある RDG_WHITE の特色をご使用ください。

細かいプリントの場合、白がうまく入らない場合がありますので、線幅 1mm 以上の幅で作成してください。

文字のみを表現される場合にも同様に、線幅 1mm 以上で作成してください。

透けてほしくない部分には、
白版レイヤーの中に入っているパスを削除して、

日本 JAPAN

カラーデータの真下に白版を作成して、
白版レイヤーの中に入れてください。

全面に白版を入れたい場合には、
白版レイヤーの中にあるパスをそのまま残してください。

全体的に透けてほしい場合は、
白版レイヤーの中にあるパスを削除してください。